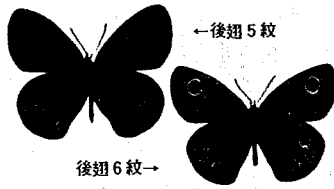


秋葉山の蝶 (21)



ヒメウラナミジャノメ

(ジャノメチョウ科)

学名 *Ypthima argus* Butler

姫翼波陀目は、5月頃から姿を現わす蝶で、林の中や縁等どこでも見かけられます。地面近くをヒョイ、ヒョイと跳ねるような独特の飛び方をし、驚くと、近くの草の間へサッとまぐりこむこともあります。

翅の表面は全体的に褐色で、前翅に1つ後翅に2つ、黄色い太線に縁取られた蛇の目玉のように見える眼状紋があります。また、裏面は薄褐色と白色の波形の縞模様になっていて、その中に前翅に1つ後翅に5つの眼状紋があります。時には後翅に6つの紋がある個体も見かけます。

学名の *argus* は、ギリシャ神話の「百の目玉をもつ武将」の名前だそうですから、まだまだ紋の数が足りないようですね。

(佐藤良幸 本町4)

リレー随想



な会場は、野原のエリア、山のエリア、街のエリア、マジカルクロスの四つに大別されています。私は一回とも、季節の花がふんだんに楽しめる山のエリアを中心にまわってきました。ここでは、会場の日本本の山里の風景を再現した花の谷、世界最大の花「ラフレシア」が展示されている政府庭園、世界各国から出展の国際庭園、道府県など出展の郷土色豊かなふるさと庭園、各種企業団体出展による花木苑など、百五十余の大小庭園や花壇が美を競い合っていました。また、場内道路の両側も変化に富んだ花壇や生け垣で演出され、一日中見て回っても疲れを覚えぬほどの楽しさでした。

これらを彩る花々も四月にはチューリップ、パンジーなどの春の花でしたが、五月にはペチュニア、ダイアンサス、ペゴニアなど初夏の花に変わっており、夏や秋にこれがどんな花で埋め尽くされるのか、今から楽しみです。花を学ぶにも、花を楽しむにも、花の中心で遊ぶにも、実に恰好の場所としていえます。この会場も、毎日花がら摘みや清掃で美しく管理されています。しかし、中には、花壇内に入り込み、庭石に腰掛けて花を踏

国旗や国花の印刷ミス、ウォーライドの転落、ロープウェイ事故など、トラブルの連続で一時は不評をかった花の万博も、五月半ばには入場者が延べ五百万人を超え、このところ予想以上の人気が集まっているようです。世界中の名花や珍しい植物が居ながらにして見られるとあっては、とてもジツとしていられ

ません。季節の花を追って月に一度は訪れたいと思ひ立ち、これまでに四月中旬と五月中旬の二回見に行つて参りました。

一四〇ヘクタール余の広大な会場は、野原のエリア、山のエリア、街のエリア、マジカルクロスの四つに大別されています。私は一回とも、季節の花がふんだんに楽しめる山のエリアを中心にまわってきました。ここでは、会場の日本本の山里の風景を再現した花の谷、世界最大の花「ラフレシア」が展示されている政府庭園、世界各国から出展の国際庭園、道府県など出展の郷土色豊かなふるさと庭園、各種企業団体出展による花木苑など、百五十余の大小庭園や花壇が美を競い合っていました。また、場内道路の両側も変化に富んだ花壇や生け垣で演出され、一日中見て回っても疲れを覚えぬほどの楽しさでした。

花の万博見て歩く記

新栄町 田辺昭作

石油の里情報

石油の世界館特別展
近現代陶芸展とき…6月2日(土)
～7月1日(日)入館15万人目
(5月15日)

北海道札幌市からこられた浅井五郎さん(78歳、金津出身)が、石油の世界館15万人目の入館者に。浅井さんには、記念品が贈られました。



浅井さん

障害者・高齢者
増改築資金貸付け

みなから弁当を広げている人が散見され、外国からもたくさん見えているお客様の前でマナー三等国日本を丸出しにしたいようで、たいへん残念な思いでした。

このパトンを南町の高橋彬さんにリレーします。

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

* * *

お買物、ご用命は市内で

襖、壁、障子、天井、カーテン
ブラインド、カーペット、クッションフロアー

美術表装、額、掛軸

表具一心堂

本町3 ☎22-2035

健康家族

薬

保険調剤・漢方薬全処方
健康食品・ベビー・介護用品

なら新津薬局

新津駅前本店 (24) 6311
おぎかわ駅前店 (24) 6322